

2025 年 12 月 吉日

消化器外科データベース関連学会協議会
関係各位

日本消化器外科学会
データベース委員会

NCD データを利用した 2026 年度消化器外科領域新規研究課題の公募

1. はじめに

臨床現場の医療情報を体系的に把握し、医療の質の向上に資する分析を行い、もって一般市民に最善の医療を提供し、適正な医療水準を維持することを目的として、2010 年に「一般社団法人 National Clinical Database (NCD)」が設立されました。NCD のデータベース事業は 2011 年 1 月から登録が開始され、毎年 100 万例を超える、膨大な診療データが蓄積されています。

日本消化器外科学会(以下、本学会)では、このデータベース事業の取り組みの信頼性について外部の

検証を受けるべく、NCD と共同で 2011 年登録データをもとにリスクモデルの開発、評価を行い、主たる 8 術式について論文化し、新たに肝移植術を 9 術式目としました。

また、これらのリスクモデルをもとにアニュアルレポートの公表、NCD Feedback 機能のリリース、新規研究課題のデータ解析といった有益な情報を順次提供しております。

本事業は、広く消化器外科領域の関連団体に新たな研究課題の提案を募り、All Japan の新たなエビデンスの構築を目指すものであり、安心・納得して医療を受けられる環境整備や、「がん死亡率の減少」というがん対策基本計画の目標達成に寄与できることを期待します。

2. 公募する研究種目

今回、公募する研究種目は次のとおりです。

(1) 過去のデータを利用した研究

すでに NCD に登録されているデータを利用して行う研究です。

※臨床データが充実している、2013 年以降のデータより、必要最小限の年数での使用を推奨します。

(2) データ追加型研究

現在の NCD 登録項目に新規項目を追加し、新たなデータを収集して行う研究です。新規追加項目へデータを入力するのは、あらかじめ登録された施設(診療科)に限定されます。本研究種目では、NCD システムに追加項目を実装する必要があるため、研究開始(新規追加項目への登録開始)は 2027 年 1 月 1 日以降となる見込みです。

※項目実装費用につきましては申請者/申請団体の負担となりますのでご用意ください。

3. 対象となる NCD データ

NCD に登録された消化器外科領域のデータを対象とします。ただし、データは、申請・採択された項目を NCD にてリスク調整を施した形式により提供されます。

※臨床データが充実している 2013 年以降のデータ使用を推奨しています。

4. 応募資格

対象となるのは、「消化器外科データベース関連学会協議会」に参加する学会又は研究会のうち、以下の (1) ～ (4) を満たしていることが必要です。

また、ひとつの学会又は研究会から応募できる課題数は、2 課題までが申請可であり、不採択となる場合があることご承知おきください。

- (1) C パターンの枠にて参画していること。
- (2) 当該学会又は研究会の公式機関において計画された研究課題であること。
- (3) 1 名の研究代表者と実務担当者、1～複数名の研究分担者が指定されていること。
- (4) 当該学会又は研究会の代表者の承諾と見解を受けていること。
- (5) 申請課題が不採択となった場合、別課題の再申請やパターン変更を受け付けていないことを了承していること。
- (6) 応募期日を厳守すること。※期日を過ぎた課題の申請は原則、受理いたしません。

5. 応募方法

別添の「消化器外科領域新規研究課題申請書」及び「代表者の承諾書」に必要事項を記入し、応募期間内に「消化器外科領域新規研究課題申請書」の word ファイル、「代表者の承諾書」の PDF をメールにて提出してください。

提出書類	提出数
・「消化器外科領域新規研究課題申請書」	1 通
・「代表者の承諾書」	1 通

6. 応募期間

2026年2月2日（月曜日）0時から3月2日（月曜日）0時まで

応募期間を過ぎて提出された申請書は、いかなる理由であっても受領できません。

応募期間を厳守の上、あらかじめ余裕を持って提出してください。

7. 研究課題の選定

(1) 審査方法

本学会プロジェクト管理小委員会およびデータベース委員会にて選考と審査を経て、同理事会にて採択の可否が決定されます。なお、選考の経過については通知しません。また、お問い合わせにも応じられません。

研究課題の選定に係る評価は、提出された申請書に基づいて行いますが、必要に応じて追加資料の提出を求める場合や、申請内容に関してヒアリング等を行うことがあります。

(2) 審査結果の通知

採択・不採択の結果は、2026年5月下旬頃から申請団体宛に通知します。選考理由については公表いたしません。

(3) スケジュール

1. 2月上旬～2月下旬の応募期間内において課題受付
2. 3月～4月に研究課題の選考（プロジェクト管理小委員会、データベース委員会）
3. 5月下旬頃から審査結果通知
4. 自施設にて倫理審査（所属施設にて倫理審査を行い、承認書類をNCD事務局様と本学会事務局宛にお送りください。※メール添付可）
5. 倫理審査状況確認後、年内にキックオフ会議を開催予定

※倫理審査は、依頼があるまで着手しないでください。

※キックオフ会議開催のご案内が9月以降になる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

※原則、倫理審査承認確認後、キックオフ会議調整の着手となります。

※解析は倫理審査承認並びにキックオフ会議終了後、着手となります。

8. 研究経費

※本研究にかかる経費（解析費）は、消化器外科データベース関連学会協議会の参加分担金より捻出いたします。但し、解析費以外にかかる経費やデータ追加型研究の場合は別途となり、システムへの項目実装をNCDに業務委託（有料）する必要があるため、これらの研究経費の確保にもご留意ください。

また、データ追加型研究におけるシステムへの実装費用は、追加する項目の仕様により変動するため、研究を進める中で相談をさせていただきます。

9. 注意事項

応募に関して

- (1) 研究課題は、各学会又は研究会にて倫理審査状況も併せて、十分な審議を経たうえで、2課題を上限とし、別紙の消化器外科領域 NCD 研究課題の要件をご確認ください。
- (2) 提出された申請書の受領後に申請団体宛にメールにて受領の旨を通知いたします。提出後、受領の通知を確認できない場合は、下記に記載の本学会事務局までお問い合わせください。
- (3) 応募された申請書は返却いたしません。
- (4) 研究成果の発表、論文化、特許申請など、研究成果の取扱いについては、本学会、NCD にご連絡をお願いします。
- (5) 研究を論文化する際の Authorship の構成、著者順などについては、本学会、NCD との協議を行う必要があり、研究のキックオフ会議時に Authorship に関する協議を行えるようにあらかじめ準備してください。

Authorship に関する基本方針は、【6 ページ】を参考にしてください。

※研究デザイン・方法については、仮説を元にキックオフ会議で詳細を相談させていただきます。

※Authorship には、原則、該当研究のキックオフ会議や関連する会議の参加者を記載し、関係する共著者は、相談とさせていただきます。

※データは、論文化を想定した最終的な結果の形での提供となります。

※2 課題までが申請可であり、不採択となる場合があることご承知おきください。

- (6) AI（機械学習／ディープラーニング）を手法に用いる研究につきましては、下記のレビュー論文をご参照下さい。

Fukuyo R, et al. Deep Learning, Machine Learning, or Conventional Logistic Regression? Annals of Gastroenterological Surgery 2025 (online publication)

採択後に関して

- (1) 申請内容を変更する場合は、変更申請書の提出をお願いいたします。原則、変更申請書受領後に、再度、審査いたします。変更の際は下記、本学会事務局までお問い合わせください。
- (2) 解析の参考資料として先行論文と参考論文の提出をしてください。
- (3) 研究代表者の所属機関にて倫理審査の準備、対応を進めてください。倫理審査承認後は関連各所（本学会/NCD/関連学会）までご一報ください。また、倫理審査の承認後に研究開始となることにご留意ください。
- (4) 原則、申請された課題の事務窓口対応は、申請もとの団体を取りまとめ、本学会に連絡をお願いします。

本学会は申請された課題に関する事務窓口対応は原則いたしませんことご了承ください。

- (5) 研究に関する質疑につきましては、キックオフ会議にて議論いただきますため、お問い合わせにはご対応できかねますことご了承ください。

10. 補足

倫理審査に関して

- (1) 主任研究者の所属施設にて対応いただき、提出された申請書ベースでご対応お願いいたします。
- (2) NCD の生データにはアクセスできません。
- (3) 倫理審査後、計画に変更が生じた場合は、変更届の提出をお願いいたします。
- (4) 条件付き採択等で再審査となる場合がありますため、依頼があるまで、倫理審査はお控えください。

共有資料に関して

- (1) 課題申請団体は、採択された課題の主任研究者にキックオフ会議開催日までにプレゼン資料の用意を依頼してください。
- (2) キックオフ会議では、主任研究者(または実務担当者)に研究の趣旨・内容を説明いただきますので、会議開催までに必要な資料の共有をお願いいたします。

※プレゼン資料に以下を含めて下さい。

- ・検討予定の対象集団を CRF の項目で示してください。(除外基準も)
- ・可能であれば、論文化の際の図表案

解析に関して

- (1) NCD データの解析結果のみが提供されます。
- (2) 解析結果には、原則、個人情報や特定可能性のある情報(医師名・施設診療科名など)は含まれません。
- (3) 再解析や追加、ボリュームによっては、参加分担金とは別途に費用がかかる場合があります。

論文化に関して

- (1) 論文原稿案の完成後、主要著者に回覧し、内容等の確認をお願いいたします。また、論文投稿や学会発表の際には本学会/NCD/関連学会へ事前に原稿の提出をお願いいたします。
- (2) 研究成果の発表、論文化、特許申請など研究成果の取り扱いについては、適宜、本学会/NCD/関連学会との共有、また連絡をお願いいたします。

■参考：NCD から提示されている Authorship に関する基本方針

1. 著者の規定には ICMJE(international committee of medical journal editors)の定める規定に準拠し、名誉的な関わりでの記載は認められず、記載された著者は全てその内容に責任を有する。
2. 著者構成は、論文執筆担当者、研究の構想またはデザイン、あるいは研究データの取

得，解析に関わった者を上位とすることを NCD は推奨する．研究開始時に関係者協議のもと，著者ならびにその順を決めておくことが望ましい．

■参考：日本消化器外科学会における Authorship に関する基本方針

1. 共著者として，日本消化器外科学会に所属する下記「1」と「2」の理事長とデータベース委員長を加えること．

2. 投稿 journal に規定される共著者数の制限内である場合，下記「3」の supervisor も共著者に含めていただき，もし枠がない場合は謝辞に研究への寄与を記載いただく．

※いずれが適切かは主研究者のご判断に委ねる．

※「担当 supervisor」とは，日本消化器外科学会プロジェクト管理小委員会委員であり，解析側と研究者との間の調整や交渉，研究内容に関する助言，相談等を担います．

1. 論文投稿時の理事長

2. 申請受付時のデータベース委員長

3. 担当 supervisor

【所属先】

[理事長] The Japanese Society of Gastroenterological Surgery

[データベース委員長] Database Committee, The Japanese Society of Gastroenterological Surgery

[supervisor] Project Management Subcommittee, The Japanese Society of Gastroenterological Surgery